

- 2025 -

公開研修会のお知らせ

夏のセミナー版

保育、教育の現場でニーズの高いテーマについて、
実践経験豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。
1つのテーマで2日間（6講義）じっくりと学べる対面によるセミナーです。

夏のセミナー 日程とタイトル

7月28日（月）～29日（火）	S1 ASD（自閉スペクトラム症）の子の理解と支援の実際
7月30日（水）～31日（木） 同日程で同時開催	S2 基礎から学ぶ発達障害・知的障害
	S3 「不器用」への理解と支援
8月1日（金）～2日（土） 同日程で同時開催	S4 「行動の問題」の見方と対応の実際
	S5 「保護者との連携」を学ぶ—親子への支援
8月3日（日）～4日（月） 同日程で同時開催	S6 特別な関わりが必要な子への保育・幼児教育
	S7 支援に活かす心理検査・知能検査の読み取り方 —WISC-VやKABC-II、読み書きアセスメントについて
8月5日（火）～6日（水）	S8 ことばの発達の評価と指導



The Japanese Association on Intellectual and Developmental Disorder

発達協会

公益社団法人 発達協会

<https://www.hattatsu.or.jp>

2025夏のセミナー 開催要項

時間帯 受付9:45～ 第1講10:15～11:45 第2講 13:00～14:30 第3講 14:50～16:20

受講料 1 セミナー（2日間） 15,400円（税込） ※セミナー単位の申込みです。
正会員・賛助会員は会員価格 13,860円（税込）

会場 東京ファッションタウン（TFT）ビル東館9階研修室
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11
最寄り駅：東京ビッグサイト駅（ゆりかもめ）徒歩1分 国際展示場駅（りんかい線）徒歩5分

定員 120名～160名（定員になり次第締め切ります）

お申込み（チケット購入と受講までの流れ）

希望するセミナーのPeatixページで、お一人様1枚のチケットをご購入ください。

<https://peatix.com/group/11688302> ➡

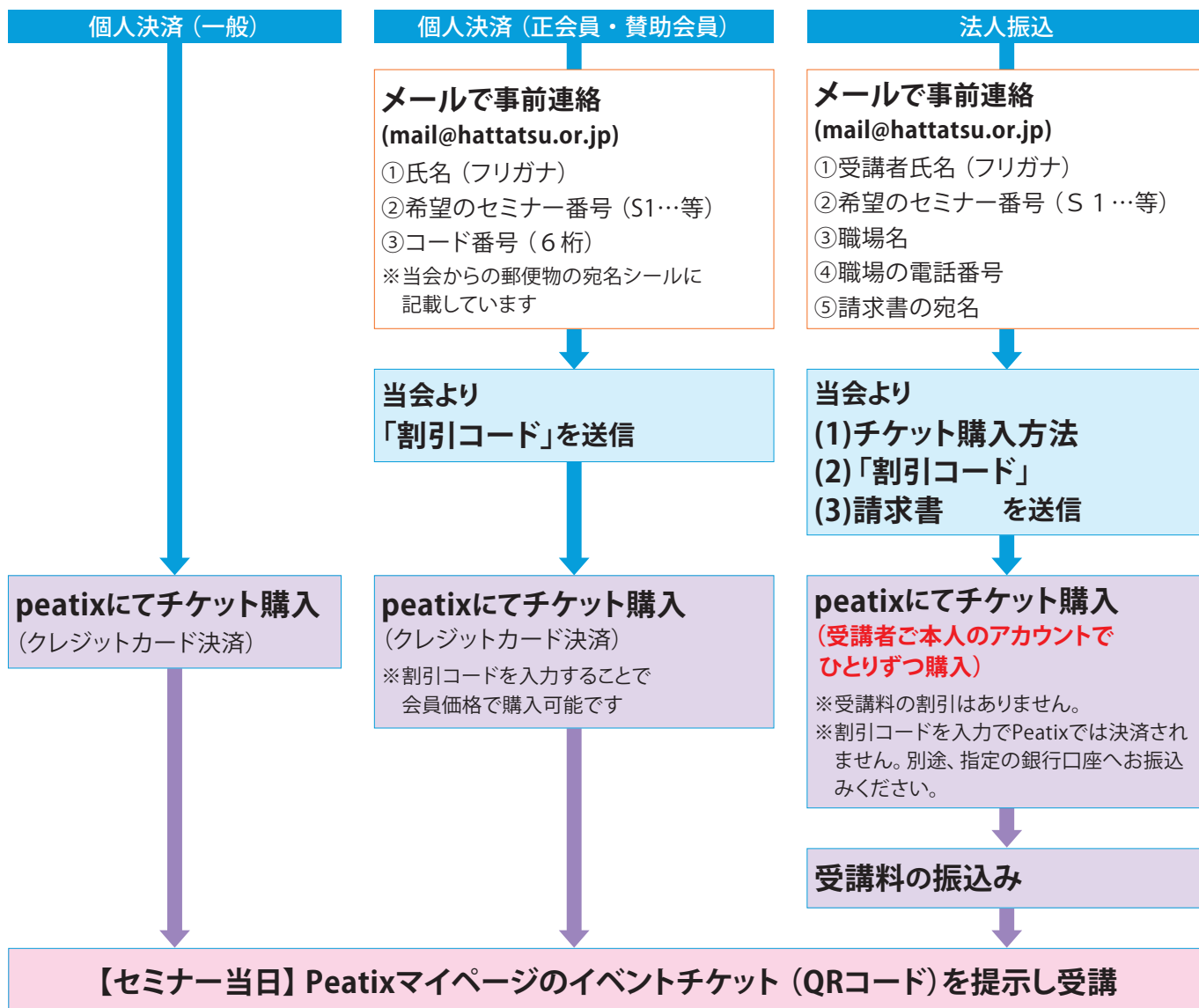


※正会員・賛助会員の方や法人振込をご希望の方は、事前連絡が必要です。詳細はPeatixをご参照ください。

※チケット購入には、Peatixアカウントが必要です。新規登録またはログインの上でご購入ください。

※チケット販売期限やキャンセル、ご返金が可能な期限については、セミナーごとに異なります。申込みされるPeatixページでご確認ください。

※チケットを購入された時点で申込み完了となります。チケットを購入されていない方は参加できません。



キャンセル

- ・キャンセル、ご返金が可能な期限内にご連絡をいただいた場合、キャンセル処理をいたします。
- ・キャンセルの場合は、必ずPeatixチケット画面にある「主催者へ連絡」または「問い合わせ」からご連絡ください。
- ・支払い日より50日以上が経過した場合には、手数料として340円が差し引かれます。
- ・いかなる理由であっても、別のセミナーへの振替は行っておりません。

ご注意

- ・同時開催のセミナーは、どちらか1つのセミナーしか申込みできません。
- ・申込み後のご案内はすべてeメールで行いますので、「@peatix.com」からのメールを受け取れるように設定してください。
- ・社会状況の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・会場の都合により、会場での書籍の販売は行っておりません。

お問合せ**公益社団法人発達協会**

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp**2025年7月28日（月）・29日（火） 1セミナー****ASD（自閉スペクトラム症）の子の理解と支援の実際**

対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

ひとことで「ASD」と言っても、その特性の表れ方は様々です

このセミナーでは、ASDについての基本的な知識を整理した上で、感覚やコミュニケーション、認知、行動の問題など、様々な角度からその特性と支援について学びます。友達と一緒に遊べない、自分のやり方を変えられない、変化に対応できない……。そんなお子さんと関わる支援者の皆さんに、子どもたちの感じ方・考え方を理解するヒントを見つけてもらうためのセミナーです。ASDの基本的な知識を整理したい方が対象の基礎講座です。

7月28日（月）	10:15 ～ 11:45	ASDとはー特徴と診断	本田真美（あのねこどもくりにつく）
	13:00 ～ 14:30	ASDの子の感覚の問題	和田 真
	14:50 ～ 16:20	ASDの子のコミュニケーション	原 哲也（児童発達支援事業所WAKUWAKUすたじお）
7月29日（火）	10:15 ～ 11:45	ASDの子の発達と認知特性	亀井真由美（東大和療育センター）
	13:00 ～ 14:30	行動の問題へのアプローチの実際	井上雅彦（鳥取大学）
	14:50 ～ 16:20	ASDの子への支援の考え方	井上雅彦（鳥取大学）

2025年7月30日(水)・31日(木) 2セミナー 同時開催



基礎から学ぶ発達障害・知的障害



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

経験の浅い指導者・支援者向けの基礎講座です

発達障害・知的障害のある子どもの成長において、それぞれの発達段階で必要な支援は何か？何を大切にしたらよいのか？支援者自身がその子の将来の見通しを持つことで、支援の方向性が見えてきます。お子さんと向き合う中で、「困っているけど、何から手をつけてよいかわからない」と悩む先生方に向けたセミナーです。経験豊富な講師陣が、基本的な支援の考え方から具体的な指導・支援の方法まで、事例とともにお伝えします。今を「その子の長い人生の中の大切な時期」と捉え、指導・支援について考えてみませんか？

7月30日(水)	10:15 ~ 11:45	神経発達症・知的発達症の理解	大谷良子(王子クリニック)
	13:00 ~ 14:30	園や教室の中での合理的配慮ー子どもの特性をどう見立てるか	樋口隆弘(関西医科大学総合医療センター)
	14:50 ~ 16:20	生活の力を高める遊びや関わり方	笹田 哲(神奈川県立保健福祉大学)
7月31日(木)	10:15 ~ 11:45	保護者との連携	田中里実(青山学院大学)
	13:00 ~ 14:30	社会性の発達とその支援①ー学齢期に育てたい生活スキルやコミュニケーションを中心に	日戸由刈(相模女子大学)
	14:50 ~ 16:20	社会性の発達とその支援②ー青年期までに身につけたいこと	日戸由刈(相模女子大学)



「不器用」への理解と支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

粗大運動、手指操作、視覚認知などへの支援とともに「子どもとの作戦会議」についても学びます

体の動かし方がぎこちないゆえに、頑張っているもうまくいかない、失敗が続いてしまう子どもにどんな支援が必要でしょうか。運動面や学習面だけでなく、生活の様々な場面で表れる「不器用」は、本人の自己評価を下げてしまうことが懸念されています。不器用な子どもが安心して過ごし、成功体験を積めるように、各領域から具体的な支援について、お話しします。子どもとともに作戦を考えるアプローチについても紹介し、明日からの支援に活かせる情報が満載のセミナーです。

7月30日(水)	10:15 ~ 11:45	「不器用さ」とはー DCD診断のポイントをふまえて	加久翔太郎(医療法人聖育会clinicWIZのぼりと・ゆうえん小児科/聖マリアンナ医科大学)
	13:00 ~ 14:30	「不器用さ」の捉え方ー障害のある子どもへの支援の際の配慮点	平田正吾(東京学芸大学)
	14:50 ~ 16:20	CO-OPアプローチの実際	塩津裕康(名古屋市立大学)
7月31日(木)	10:15 ~ 11:45	視機能と視覚認知が関与する学習のつまずき	築田明教(視覚発達支援センター)
	13:00 ~ 14:30	手指操作の発達と感覚統合理論をベースとした支援の実際	松本政悦(横浜市北部地域療育センター)
	14:50 ~ 16:20	あそびや生活の中での育て方の実際	松本政悦(横浜市北部地域療育センター)

2025年8月1日(金)・2日(土) 2セミナー 同時開催



「行動の問題」の見方と対応の実際



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

様々な側面から「行動の問題」を捉え直すことで、現場での支援の幅が広がります

発達障害のある子との関わりの中でもっとも悩ましいのは「行動の問題」かもしれません。大人だけではなく、子ども自身もその行動に振り回されている場合があります。このセミナーでは、医学でできることをお伝えした上で、学童期の事例を中心に、「行動の問題」の背景を見立て、どのように対応するとよいか、経験豊富な講師陣がお話します。子ども自身の対応力を高める予防的な支援に加えて、「学級経営」という視点から、教室内での「行動の問題」についても解説。現場での悩みや迷いが解消される充実のセミナーです。

8月1日(金)	10:15 ~ 11:45	「行動の問題」への医学的な対応－学童期のかんしゃく・パニック、思春期のゲーム行動症	作田亮一（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）
	13:00 ~ 14:30	衝動性の高い子への支援の実際	三島節子（NPOフトゥーロLD発達相談センターかながわ）
	14:50 ~ 16:20	不安やこだわりが強い子どもたちの理解と支援～安心の届け方～	松丸未来（東京認知行動療法センター）
8月2日(土)	10:15 ~ 11:45	多様な子どもたちの「行動の問題」と学級経営	川上康則（杉並区立済美養護学校）
	13:00 ~ 14:30	応用行動分析（ABA）による発達支援と「行動の問題」の解決の基礎	山本淳一（慶應義塾大学／東京都立大学）
	14:50 ~ 16:20	「行動の問題」の解決の実際－応用行動分析（ABA）を現場で活かすために	山本淳一（慶應義塾大学／東京都立大学）



「保護者との連携」を学ぶ －親子への支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

「保護者との連携」は、支援者として欠かせない視点です

発達障害の子どもに関わる支援者は、常日頃から保護者と協働して子どもの成長を促していきたいと願う一方で、その付き合い方に悩みが尽きないものです。連携のためには、子どもへの理解と支援に加えて、家族環境や保護者の特性をふまえたサポートを考える必要があります。保護者も実は孤立し、苦しんでいるかもしれないという視点にたち、保護者を支えるコツや相談のコツなど、現場経験豊富な講師陣がじっくりとお話します。

8月1日(金)	10:15 ~ 11:45	支援者が知っておきたいアタッチメントの考え方	遠藤利彦（東京大学）
	13:00 ~ 14:30	虐待を受けた子どもと家族への支援－脳の発達に与える影響をふまえて	友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）
	14:50 ~ 16:20	保護者面談の心得	竹森 亜美（星美学園短期大学）
8月2日(土)	10:15 ~ 11:45	障害のある子のきょうだいへの支援を考える	吉川かおり（明星大学）
	13:00 ~ 14:30	「家族を支える」－特性理解を深めるために	広瀬宏之（横須賀市療育相談センター）
	14:50 ~ 16:20	保護者の特性に合わせた対応の実際	広瀬宏之（横須賀市療育相談センター）

2025年8月3日(日)・4日(月) 2セミナー 同時開催



特別な関わりが必要な子への 保育・幼児教育



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

集団の中で一人ひとりへの配慮と適切な関わりを持つために

集団の流れにのれない、勝手な行動が多いなどクラスの中に何人か、特別な関わりを必要とする子がいます。障害のあるなしにかかわらず、発達の特徴を知り、それをふまえて関わるのが効果をあげます。子どもを見立てる枠組みとしての社会性の発達や運動習慣づくりについて、また保護者への話し方、伝え方など様々な実践を紹介します。「クラス」という環境をどのように整えるとよいのか、クラスづくりと個別支援の両面からお伝えする内容満載のセミナーです。

8月3日(日)	10:15 ~ 11:45	特性をふまえた関わり方	水野智美 (東京科学大学)
	13:00 ~ 14:30	社会性の発達からみた「行動の問題」	平川久美子 (宮城学院女子大学)
	14:50 ~ 16:20	保護者支援	原口英之 (所沢市こども支援センター発達支援エリア)
8月4日(月)	10:15 ~ 11:45	幼児期に育てたい心と体ー子どもの運動習慣づくりのために大人ができること	渡邊貴裕 (順天堂大学)
	13:00 ~ 14:30	クラスづくりとはーどの子にとってもわかりやすく	佐藤 暁 (岡山大学)
	14:50 ~ 16:20	クラスの中での支援の実際	佐藤 暁 (岡山大学)



支援に活かす心理検査・知能検査の読み取り方ーWISC-VやKABC-II、読み書きアセスメントについて



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

指導・支援を行う上で欠かせない、客観的な指標について学びます

子どもの学び方、認知やコミュニケーションの特性を知る手がかりとなる心理検査・知能検査。困難さの背景を知るとは、配慮の仕方や長所を活かした学び方を探るヒントにもなります。このセミナーでは、学齢期に起こりうる困難さに焦点を当て、WISC-V、読み書きのアセスメント、KABC-IIから、検査それぞれが持つ知能の捉え方や評価について学びます。検査の取り方ではなく、検査からわかることや結果の解釈法について学び、検査結果を指導・支援に活かすためのセミナーです。

8月3日(日)	10:15 ~ 11:45	WISC-Vの概要	青山真二 (北海道教育大学)
	13:00 ~ 14:30	WISC-Vの結果の読み取り方	青山真二 (北海道教育大学)
	14:50 ~ 16:20	WISC-Vの結果を支援に活かす	青山真二 (北海道教育大学)
8月4日(月)	10:15 ~ 11:45	読み書きアセスメントの概要と支援の実際	後藤多可志 (目白大学)
	13:00 ~ 14:30	KABC-IIの概要	齋藤大地 (宇都宮大学)
	14:50 ~ 16:20	KABC-IIの検査結果を支援に活かす	永田真吾 (山梨大学)

2025年8月5日(火)・6日(水) 1セミナー



ことばの発達の評価と指導



対象年齢： 幼児 | | | | | | | | | 青年

経験や勘だけに頼らない、適切な評価（アセスメント）に基づいた指導方法を学びます

「ことば」は、子どもの発達の中で、最も関心の高い領域です。「ことば」でのやりとりには、理解、表出だけでなく、聴こえの問題やしやべり方、発音など、多様な側面があります。大人は、それぞれの発達や関連をふまえた上で、子どもと関わる必要があります。言語発達の評価、聴こえや発音についてもわかりやすく解説し、生活の中でことばを育むための実践例を示しながらお話しします。特定の場面では話せない「場面緘黙」についても取り上げる充実のセミナーです。

8月5日(火)	10:15 ~ 11:45	言語発達の障害とは	大伴 潔 (東京学芸大学)
	13:00 ~ 14:30	LCスケールによる言語発達の評価	大伴 潔 (東京学芸大学)
	14:50 ~ 16:20	聴こえと言語の関係	岡野由実 (群馬パース大学)
8月6日(水)	10:15 ~ 11:45	話しことばの障害と指導	原 由紀 (北里大学)
	13:00 ~ 14:30	場面緘黙のある子への理解と対応	高木潤野 (場面かんもく相談室 いちりづか)
	14:50 ~ 16:20	ことばの発達が遅い子への指導・支援	池田泰子 (東京工科大学)

言葉の発達について基礎からわかりやすくお話いただけたので、よく理解できました。(福祉施設・指導員)

夏のセミナー アンケートより

自分が直ぐに実践したいと思えることばかりで、保育のアイデアが広がった気がした。(保育士・幼稚園教諭)

今までの経験に基づいたお話が多く、勉強になりました。合理的配慮のためにも自己理解が必要だというお話から障害について改めて考える良い機会になりました。(特別支援学校教員)

伝え方一つで子どもが理解しやすくなることと、その子に合わせてスモールステップを用いてたくさん褒めることで自信に繋がるということを学びました。(特別支援学校教員)

今、自分が関わっている子どもたちが大きくなった時、どんな社会になっていてどんな生きづらさがでてくるのか、深く考えたことがありませんでした。できないからやってあげる、できないからやらせないではなく、生きる術を身につけられるよう教えていく大切さを感じました。(保育士・幼稚園教諭)

不器用な子どもの感覚を映像や実体験を交えてお話いただいたのでわかりやすかったです。(作業療法士)

運動発達の基本から教えていただき、改めて発達段階、順序を考慮して子どもの発達を考えていく必要があることを学びました。(特別支援学校教員)

検査結果が全てではなく、それをもとにどのような支援ができるのか考えることが重要だと実感した。(公認心理師)

ASDやADHDなど様々な特性がある中で、それぞれの特徴や傾向について改めて学ぶことができました。(言語聴覚士)

ASDに限らず、発達障害の子どもを持つ保護者も不安や悩みを抱えており、そこにける言葉の一つひとつが相手にとっていい言葉であるか、不適切な言葉であるか、考えていかなければいけないと感じました。(教員)

会場 東京ファッションタウン (TFT) ビルへのアクセス



会員募集

発達協会では、活動を支えてくださる正会員・賛助会員を募集しています。

会員になると、様々な会員特典が受けられます。

賛助会員の場合(一口5,000円)

年間購読料4,884円の月刊誌「発達教育」が追加料金なしで毎月届きます。

対面セミナーが会員価格で受講できます。

正会員の場合(一口10,000円)

賛助会員の特典に加え、当協会の事業を決定する会員総会で1票を投じる権利が得られます。

入会を希望される方には、当会の活動を紹介するパンフレットと申込みハガキをお送りします。申込みハガキをご返送いただき、申込みが受理された段階で入会となります。入会后、月刊誌とともに会費の振込用紙をお送りします。ぜひホームページからお問合せください。

月刊誌をご購読いただいている方もセミナーへの参加を検討されるこの時期に、ぜひ会員への切り替えを考えてみてはいかがでしょうか。

お問合せお待ちしております。



発達協会

公益社団法人発達協会

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp

